

脱メタボ

第2期 島田市国民健康保険 特定健康診査等 実施計画策定

市では、平成20年度から国民健康保険（以下「国保」）被保険者のメタボリックシンドローム（以下「メタボ」）の該当者・予備群の減少に向け「第1期 島田市国民健康保険 特定健康診査等実施計画」を策定し、特定健康診査（以下「特定健診」）・特定保健指導を実施してきました。また、平成25年度から第2期（平成25年度～29年度）を迎えたため、第1期の結果を踏まえた効果的・効率的な実施を目指す新たな計画を策定しました。

☎ 国保年金課 36・7151

第1期の結果が現す課題

市の国保被保険者の医療費は、平成20年度以降、年々増加し、平成23年度には82億3000万円に達しました。このまま医療費が膨らんでいくと、保険料率を上げなければならず、被保険者の皆さんの負担が増してしまいます。このため、医療費の抑制は緊急の課題であり、特定健診・特定保健指導の役割は、さらに重要だといえます。

また、糖尿病や高血圧性疾患、脳梗塞、腎不全などの生活習慣病の占める割合が医療費全体の約3割となっています。そのため、生活習慣病のもととなるメタボを未然に防ぐための施策も、重要な課題の一つです。

特定健診の受診率（表1「実績」）を見ると、平成23年度で34・4%と伸び悩んでいることがわかります。また、

受診者の内訳も、60歳以上の人の割合が高くなっています。メタボ対策は、若いうちから取り組むことで大きな効果を得られるため、若い世代への受診勧奨を重点的に行う必要があります。

特定健診の受診率と特定保健指導の実施率に目標値を設定

第2期の計画では、特定健診受診率と特定保健指導実施率を高めるため、国の示す基準や地域の実情を踏まえ、より具体的な市の年次別目標値（表1「目標値」）を設定し、目標達成に向けた実施体制の確保を図ることにしました。さらには、受診者に健康状態を分かりやすく伝えるため、説明会や個別相談などで丁寧な説明を加えながら、健診結果を手渡すようにしました。健康チェックのため、ぜひ年に1回、特定健診を受けましょう。

■ 年度別特定健診受診率および特定保健指導実施率の実績・目標値（表1）

年度	実績					目標値					
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
特定健診受診率	33.4%	31.7%	31.2%	34.4%	—	40.0%	45.0%	50.0%	55.0%	60.0%	
特定保健指導 実施率	動機付け支援	34.9%	42.2%	34.3%	50.4%	—	52.0%	54.0%	56.0%	58.0%	60.0%
	積極的支援	17.1%	26.6%	23.0%	46.2%	—	50.0%	52.5%	55.0%	57.5%	60.0%

※ 平成24年度の実績については、現在集計途中のため未確定です。



国民健康保険ご加入の皆さん
特定健診が始まりましたよ

6月から特定健診が始まっています。特定健診は、島田地区の開業医で行われる「個別健診」または金谷・川根・伊久身地区で行われる「集団健診」で受診できます。

また、体の他の部分も確認したいという人には、11月以降に各地区で行われる「国保総合健診（集団健診）」をお勧めします。国保総合健診では「特定健診」と「がん検診」を同じ日に同じ場所で受診できるので、「ミニ人間ドックのようだ」と好評です。本誌6月号「特定健診」で紹介した提坂（さげが）さんも、この国保総合健診を受診したうちの一人です。

※ 健診の受け方など詳しくは、健康づくり課までお問い合わせください。

☎ 健康づくり課 34・3282